

富士見 お散歩 マップ

東大久保・
南畠編



難波田城公園



文獻によると1722年に地元が「難波田」から「南畠」に変わりました。



難波田城(なんばたじょう)は、中世に富士見市を本拠に活動した難波氏の城館跡で、昭和36年、埼玉県旧跡に指定された歴史公園です。

【難波田城資料館・古民家】

休館日：月曜日(祝日を除く)、祝日直後の平日、年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間：午前9時～午後5時

【難波田城公園】

休園日：なし

開園時間：午前9時～午後6時(4月～9月)、午前9時～午後5時(10月～3月)



難波田城公園・資料館では、地元の方などに講師になっていただき、様々な昔体験をすることができる「ふるさと体験」や、土・日・祝日(年末年始を除く)に開催している子どもも大人も手軽に楽しめる体験イベント「ちょこっと体験」を開催しています。

ほかにも、古民家に泊まって、手打ちうどん作りや五右衛門風呂など昔の暮らしを体験する「古民家宿泊体験」、本物のよろいを試着する「よろいを着てみよう」など、たくさんの体験企画・イベントを実施しています。

※参加方法など詳しくは施設(電話番号 049-253-4664)までお問い合わせください。



難波田城公園イメージキャラクター
なんばった



菜の花フェスタ(4月上旬)

東大久保地域の田んぼ一面に菜の花が広がります。期間限定で菜の花摘みや、大型熱気球係留フライトの体験もできます。また、米・農産物などの販売や模擬店も多数出店しています。

※熱気球のフライトは、強風などの気象条件によりできない場合もあります。



なんばた青空市場(11月上旬)

収穫が終わった南畠幼稚園近くの田んぼを会場に、農産物の直売や模擬店、お米のこみ取りなど、生産者と消費者の「ふれあい」をテーマにしたイベントです。



菜の花まつり(3月下旬)

難波田城公園東側の南畠直売センター周辺で地元野菜の販売などをしています。3月下旬から4月上旬には菜の花摘み体験ができます。



難波田城公園まつり(6月上旬)

鉄砲隊による火薬銃演武や武者行列、だんごやまんじゅうなどの模擬店、本物たりょうあそびなどの体験コーナーなど、戦国時代タイムスリップした気分が味わえるお祭りです。

発行：富士見市地域活性化研究会「ふじみらぐ」 この情報は平成30年3月時点の情報です。



「技能と文化」を伝える

富士見市では、昭和35年に「ホウキモロコシ」の作付面積が県内位となり、当時は座敷ほうきが特産として作られていた。生活の変化により減少してきたが、自然素材で墨やフローリングにも優しいと話すのは、技能と文化の継承を図る「いきものがかり」の皆さん。難波田城資料館で活動しており、春から秋にかけて難波田城公園で「ホウキモロコシ」も育てています。

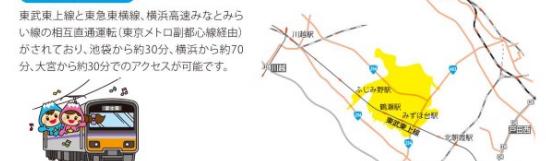


みんな生きている

「笑顔で楽しい農業をしていきたい。」そう語るのは難波田城公園脇に農業を営む柳下春良さん。魚や昆虫などと共にできる農業を目指し、「おいしい・安全なお米を育てるには水が大事。子どもたちに環境問題についても考えてもらいたい。」と、目の前に広がる田んぼが教室に。どこか懐かしい景色が広がっています。

富士見市アクセスガイド

鉄道のアクセス



文化財



前耕地観音堂④



下南畠水川神社①



たそがれ地蔵③



天神社②



エンマ堂⑩



阿蘇神社⑪



馬の避難所⑮



砂川橋管⑯



南畠村郭忠碑⑨



本丸土壘②



新河岸川放水路の下流端碑⑥



天神社の祠①



蛭沼陸田開拓碑②



金蔵院⑧



あたご様⑤



南畠八幡神社④



水越門檻⑯



馬の避難所⑯



いぼとり地蔵⑯



大山阿夫利神社⑫



蛇木河岸跡⑤



旧新河岸川開拓記念碑⑦



車地蔵①



長谷寺⑩



山形樋管⑭



興禪寺⑪



上南畠神社⑨



総合揚水機場⑬



慈光院跡の大型骨牌⑥



南畠排水構管付近の荒川土手⑤



いぼとり地蔵⑯



大山阿夫利神社⑫



伊佐島河岸跡の水神碑③